

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いします。

目次

- p1 トピックス：全国の皆さま！温かいご支援ありがとうございます！
- p2 復興イベント情報、応援職員紹介 など
- p3 月間ココロプレス、被災地からのレポート
- p4 県からのお知らせ、みやぎ“復興人” ほか



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1 お名前、2 お住まいの都道府県、3 ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！

トピックス

全国の皆さま！温かいご支援ありがとうございます！

ー復興支援に対する感謝をこめたポスターの作成についてー

宮城県では、東日本大震災の風化防止や、全国からいただいている様々なご支援に対する感謝の気持ちの発信、被災地への中長期的な支援の必要性に対する幅広い理解の促進などを目的としたポスターを作成しています。

ポスターは全国の自治体や支援団体等のご協力により、公共施設や公共交通機関など、県外を中心に掲示します。

また、ポスターに連動したウェブサイト「宮城から感謝をこめて」では、ポスターには書ききれなかった詳しいエピソード等を、動画とともに発信しています。被災地で復興に取り組む方々の“今”を、どうぞご覧ください。



ありがとう。

「宮城・気仙沼の灯りを守るぞ！」被災した町の施設商店街に、笑顔と賑わいをもどってきました。



復興に取り組み宮城県から、感謝をこめて報告します。



復興に取り組み宮城県から、感謝をこめて報告します。



ありがとう。

「よみがえれ！豊かな農地！」宮城県内の賑わいを含めた宮城・豊かな農地のチャレンジ。



復興に取り組み宮城県から、感謝をこめて報告します。



復興に取り組み宮城県から、感謝をこめて報告します。

「宮城・気仙沼の灯りを守るぞ！」

ー気仙沼復興商店街 南町紫市場ー

気仙沼市の南町商店街は、東日本大震災の津波により、甚大な被害を受けましたが、被災した店主たちは、全国からの心温まるご支援を受けて、平成23年12月24日に「気仙沼復興商店街・南町紫市場」を立ち上げました。

気仙沼復興商店街の坂本副理事は、「経済的な支援も嬉しかったし、遠くから駆けつけてくれたボランティアの皆さんは力仕事もしてくれました。

何より嬉しいのは、一度だけでなく何度も来ていただけていること。繋がっているという実感が一番嬉しいです。」と話しています。



学生ボランティアによって描かれた壁面

「よみがえれ！豊かな農地！」

ー東松島市州崎・東名地区 試験作付けスタートー

東松島市州崎・東名地区の農地は、東日本大震災の津波により、海と見分けがつかないほどの浸水被害を受けました。「豊かな農地を復活させよう。」と農家の方々は各方面から様々なご支援をいただきながら、排水や除塩などに取り組んできましたが、ようやく今年、水稻やソバなどの試験作付けにこぎつけました。

農家の菅野さんは、「試験作付けとはいえ、3年以上海水に浸かっていた土地で、田植機のエンジン音を聞いた時は、本当に感動的でした。」と話しています。



ソバや小松菜の試験作付けの様子

【お問い合わせ先】 県震災復興推進課 電話 022-211-2408 URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/> ウェブサイト「宮城から感謝をこめて」 URL <https://sites.google.com/site/kanshamiyagi2/>

復興イベント情報

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前にご確認ください。

凡例

- 日 日時、期間
- 所 場所、会場
- 内 内容等
- 問 問い合わせ

東北歴史博物館「民俗芸能上演会」（多賀城市）

東北歴史博物館では、テーマ展示「よみがえった被災文化財―被災した芸能用具とその再生―」関連企画として、被災地の団体を中心とした「民族芸能上演会」を開催します。

被災地の民俗芸能は、多くの支援に支えられながら力強く再生の道を歩み出しています。地域コミュニティ再生への一つの推進力になっている民俗芸能の姿を、ぜひご覧ください。

- 日 平成26年11月3日（月・祝）文化の日
- 内 「女川町竹浦獅子振り」、「七ヶ浜町吉田浜獅子舞」の演舞
- 所 問 東北歴史博物館 ☎022-368-0106

第30回気仙沼市産業まつり（気仙沼市）

気仙沼市の地場産品を一堂に集め展示販売が行われるほか、地場産品等が当たる大抽選会、ジャンボのり鉄火巻き大会も行われ、「市場で朝めし。」も同時開催となります。

- 日 平成26年10月26日（日）9:00~15:00
- 所 気仙沼市魚市場（4年ぶりに気仙沼魚市場が会場となります）
JR気仙沼駅より徒歩で30分。
または東北自動車道一関ICより車で70分
- 問 気仙沼市産業部商工課 ☎0226-22-6600

竹下復興大臣が被災地を視察

平成26年9月8日

第2次改造内閣で復興大臣に就任した竹下復興大臣が、村井知事と会談したほか、石巻市の南浜地区や石巻魚市場を視察しました。

視察後の記者会見では、「復興はまだまだこれからだが、明らかに動き始めている。」と述べるとともに、必要な事業は今後も実施していく考えを示しました。



亀山石巻市長から説明を聞く竹下復興大臣（写真右）



知事と懇談する竹下復興大臣（写真左奥）

復興支援掲示板 ー青山財団からのお知らせー

岩手県、宮城県、福島県に住所又は活動の本拠を有する音楽団体等に、備品や公演に係る経費を補助します。詳細は、下記のホームページをご覧ください。

交付金額：1件あたり10万円~200万円まで
出願期間：平成26年10月1日~11月30日

問 公益財団法人青山財団 ☎075-393-0011

http://www.barocksaal.com/ts_enterprise/index.html#toughoku

全国の皆さま 支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.24



氏名 小木曾 房男 (コギソ フサオ)
派遣元 愛知県
所属 医療整備課

きしめん、みそかつ、名古屋城など有名な愛知県から派遣されています。愛知県では保健福祉行政を多く経験した後、定年退職しましたが、希望してOB（再任用）職員として派遣され、現在2年目です。

宮城県では、病院等の補助金業務に携わっています。被災地の医療の再生のため、少しでも県民の皆さんの力になれば幸いです。休日は趣味で東北の様々なマラソン大会に参加しています。戻ったら東北（特に仙台=コンパクトシティ）の素晴らしいところを愛知県の皆さまに広めていきたいと思っています。



氏名 鈴木 智恵 (スズキ トモエ)
派遣元 新潟県
所属 東部保健福祉事務所

中越地震があった新潟県小千谷市の出身です。震災のときはビニールハウスにシートなどを敷いて、そこで1週間ほど過ごした記憶があります。

保健師として宮城県に派遣され、被災者支援会議等の業務に携わっています。中越地震の際に、多くのご支援をいただいたことを思い出しながら、宮城の力になれるよう業務を行っています。宮城県の方々はとても温かく、穏やかな方が多い印象です。また、食べ物は本当に美味しいです。派遣期間中にできるだけ多くの地域に行ってみたいと思います。



氏名 甲斐 治 (カイ オサム)
派遣元 宮城県
所属 医療整備課

畜産県で有名な宮城県から派遣されています。4年前、宮城県で口蹄疫被害が発生した際に、全国の皆さんから多くの支援をいただきました。その恩返しをするつもりで、希望して派遣されてきました。

宮城県では、救急医療に関する業務や病院への補助金業務などで、医療の復興に携われることにやりがいを感じています。

宮城県には初めて来ましたが、食べ物がおいしく、観光地が多いという印象です。家族全員で宮城に来たので、休日は家族で県内各地を見てまわりたいと思います。



氏名 富田 倫史 (トミタ ノリフミ)
派遣元 神奈川県
所属 子ども総合センター

派遣元の神奈川県は、横浜中華街や赤レンガ倉庫など、様々な文化が混ざり合った面白いまちです。宮城県はやはり海鮮物がすごくおいしいですね。

心理職として宮城県に派遣され、沿岸部の小中学校を中心に巡回し、困っていることがないか情報収集などを行っています。

関東で過ごしていると、被災地の復興の話はとても少なくなっています。しかし、実際被災地を訪ねると、復興はまだまだこれからだと感じます。今後の宮城のため“今”だけではなく、“未来”につながるような仕事をしていきたいと思っています。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

投稿数が1,000件を超えました。



ココロプレス 検索

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



2014年8月28日 木曜日掲載

私たちもできることで応援します

(気仙沼市、丹波市、広島市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/08/blog-post_86.html

「震災の時は本当にたくさんの人に助けられたから」。東日本大震災で自宅が大規模半壊した吉田久仁子さんは、地域の女性たちが始めた「私たちにできることで恩返し」という呼び掛けに賛同し、広島県と兵庫県に掃除用のタオルや歯ブラシを送る活動に参加しています。



2014年9月16日 火曜日掲載

夜空に描く みんなの未来! 福興市で「三河手筒花火」(南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/09/blog-post_51.html

志津川の夏の風物詩「八幡川かがり火まつり」に「三河手筒花火」が華を添えました。発案した南三陸町職員の篠宮彰里さんは、愛知県新城市役所からの派遣職員。「来年もまた、続いて、南三陸町の新しい風物詩になってくれたらうれしいです」と語ります。



2014年9月18日 木曜日掲載

高校生の私たちにできる事～目黒星美学園 中学高等学校の取り組み～(山元町、亘理町、東京都)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/09/blog-post_33.html

「少しでも笑顔になっていただけるように被災者の方の“心に寄り添う”。それが高校生の私たちにもできること」「ここで学んだことを多くの人に伝えることが、私たちの責任」。目黒星美学園中学高等学校(東京)の有志が、今年も「被災地ボランティア研修」に取り組みました。

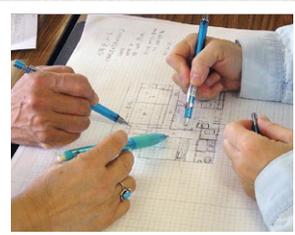


2014年9月20日 土曜日掲載

記憶の中の住まいを訪ねて(仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/09/blog-post_76.html

「床下に池があったのですか? 贅沢な設計ですねえ……!」被災した方からの聞き取りを手掛かりに、震災で失われた住まいを「見取り図」で復元する試みが進められています。宮城県建築士会女性部会の「記憶の中の住まい」プロジェクトです。



被災地からのレポート

http://inforanger.tasukeaijapan.jp/



3.11復興支援プロジェクト 情報レンジャー

「情報レンジャー@宮城」は、復興のための正しい情報やニーズを届ける「助けあいジャパン」の情報収集実行チームです。被災地の今をWebサイト上に公開していますので、どうぞご覧ください。

情報レンジャー@宮城 検索

宮戸・月浜海水浴場

宮城県東松島市にある宮戸・月浜海水浴場。夏には海水浴場としてオープンし、多くの人で賑わいました。既に海水浴シーズンは終了していますが、散歩する家族連れや水遊びや海釣りを楽しむ人の姿が見られます。

ホームページでは、ここ宮戸・月浜海水浴場のパノラマ写真をご覧になれます。

URL : http://inforanger.tasukeaijapan.jp/report/140914-7



「さんフェア宮城2014」を開催します

名取市のまなウェルみやぎなど県内5会場で、農業・工業・商業・水産・家庭などを学んでいる全国の専門高校生の祭典「第24回全国産業教育フェア宮城大会」を開催します。

専門高校生の日頃の学習成果や震災からの復興に貢献する人材育成の現状を紹介するとともに、全国からいただいた支援に対する感謝の意を表します。

- 日 平成26年11月8日(土)～9日(日)
- 所 まなウェルみやぎ、名取市文化会館、名取市民体育館、セキスイハイムスーパーアリーナ、仙台港
- 内 作品・研究発表、意見・体験発表、生産物(農産物)等販売、ファッションショー、キッズビジネスタウン、ロボット競技大会、海洋実習船「宮城丸」船内見学等
- 問 第24回全国産業教育フェア宮城大会実行委員会(県教育庁高校教育課内) ☎022-211-3625
<http://www.sanfair-miyagi.myswan.ne.jp/htdocs/>

放射線・放射能に関するセミナーを開催します

仙台国際センターを会場に、放射線・放射能が健康に与える影響などについて、わかりやすく解説し、疑問・質問にお答えするセミナー・相談会を開催します。

セミナーでは東京大学医科学研究所の坪倉正治氏に講演いただくほか、事前にお寄せいただいた質問等について、講師がお答えします。

- 日 平成26年11月8日(土) 午後1時～4時
- 所 仙台国際センター 桜2(定員160人・入場無料)
- 内 セミナー ー内部被曝の現状と今後注意すべきことー
個別相談会 宮城県放射線技師会 ※先着10人程度
※当日受付でお申し込みください。
- 測定実演 自然界の放射線がご覧になれるほか、家庭の食材の放射能を測定します。(測定は事前に下記までお申し込みください。) ※先着5人程度
- 問 県原子力安全対策課 ☎022-211-2340
<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/event/>

明日のみやぎへ！みやぎ“復興人”

「 」かぎかっこプロジェクト

いしのまきカフェ「 」(かぎかっこ)

石巻市役所の1階に、高校生らが運営する“いしのまきカフェ「 」”があります。このカフェの最大の特徴は、地元の高校生自らが、企画・運営を担っているということです。

平成24年6月、約40名の高校生が集まり、カフェづくりがスタート。全て「ゼロ」から行うため、メニューも何もありませんでした。あるのは真っ白な空間だけ。

高校生らは、商品開発・空間デザイン・情報発信の3チームで役割分担し、専門家のアドバイスを受け、石巻のまちの人々とコラボしながらカフェをつくっていきました。

平成24年11月には、ついにカフェがオープン。店名は“これから色々な可能性を込められるように”という思いのもと「 」(かぎかっこ)になりました。この場所は、まちの憩いの場になるとともに、地元高校生らの「学びの場」となっています。

今月号は、現地スタッフの神澤祐輔さんに、いしのまきカフェ「 」の概要を伺いました。

●カフェを立ち上げた経緯を教えてください。

石巻には震災前から地元企業に就職する人が少なく、市外・県外へ人口が流出してしまうという問題がありました。その中で震災があったことで、今後も地元から離れてしまう人が増えるのではないかと懸念がありました。

石巻市には大学が1校しかないので、若者が市外・県外へ出て行ってしまうのは仕方がないとしても、将来地元に戻って還元したいと思えるよう、高校生自身で商品開発しながら地元のよさを発見して欲しかったのが目的の一つです。



現地スタッフ 神澤 祐輔さん

●神澤さんが、いしのまきカフェ「 」に参加したきっかけを教えてください。

私は兵庫県の出身で、小学校の時に阪神・淡路大震災を経験しました。京都で前職があったのですが、震災を経験した者として復興に係る支援に協力したいと思っていた時に、NPO 団体からお話をいただき、今回の取り組みに参加しました。

●最近の活動について教えてください。

カフェの運営のほか、高校生らの職場体験・他団体の交流などを行っています。神奈川県の大和市では、市の支援の下、同様のカフェを立ち上げることを検討していて、平成26年2月には、逗子市の高校生がカフェを訪れ、交流会を行いました。

●神澤さんが、地元の高校生たちに伝えたいことや、ご自身の意気込みを教えてください。

東京などの都会でしかできないことはありますが、ここ地元石巻でしかできないこともたくさんあります。

ぜひ、これからの若い人たちには、地域の素晴らしさを感じてもらい、若者が活気づく場にしていきたいと思っています。



お問い合わせ・営業時間等

- 問 いしのまきカフェ「 」 ☎0225-23-9371
<http://doorwaytosmiles.jp/>
- 所 石巻市穀町14-1 石巻市役所1F エスタ内
月火水土日：午前11時30分～午後4時
(平日は大人スタッフが営業中)

みやぎ復興プレス 第29号

【発行日】平成26年10月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局：震災復興推進課)

電話：022-211-2408 e-mail：fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」 [URI http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/)

「震災・復興」 [URI http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/](http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/)

